

令和7年度 校長の方針について

令和7年4月1日
嘉麻市立碓井義務教育学校
校長 石場 広規

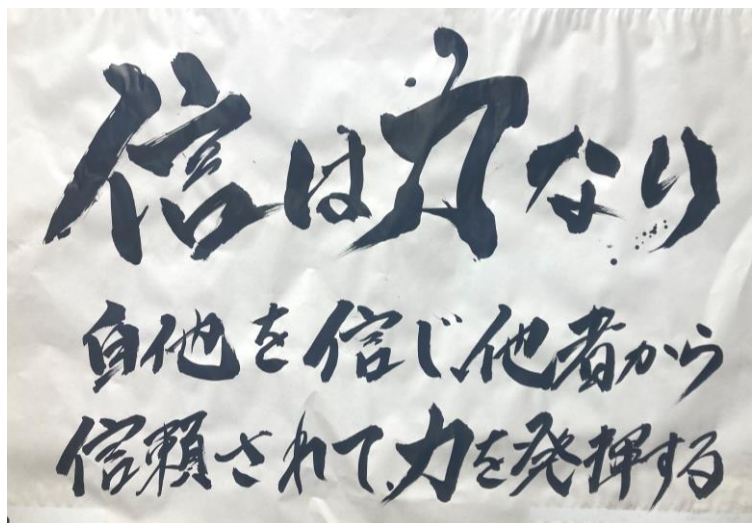
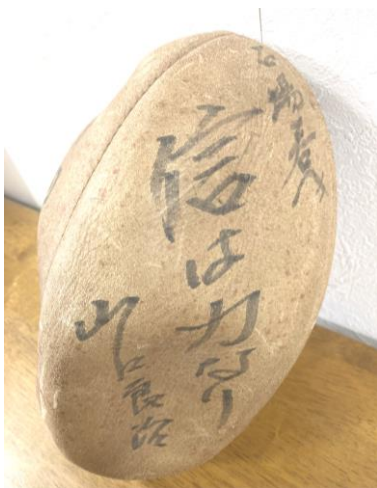
はじめに

- 落ち着いた学級・学年・学校
※落ち着かないと、いじめ・学力向上・不登校・規範意識・郷土愛すべてに影響する。
- チーム・組織として、情報を共有しベクトルをそろえて何事にも取り組んでいく。
- 小中一貫教育の9年間で充実したものにし、進路を開くために、ほめて・価値づけて・伸ばす！可能性

【令和7年度】学校経営構想

【私の思い】

- ◎職員が一丸となって、
- 碓井義務教育学校を誇りに思える児童・生徒を育てたい。
- 自分を信じ、他者を信じ、他者から信頼される児童・生徒を育てたい



◎ベクトルをそろえたいこと

- ・学習規律、授業過程の徹底
- ・情熱、愛情を持って生徒の指導にあたっていく。
- ・保護者は自分の子どもを通してしか、先生を評価しない。児童生徒一人ひとりを大切に。
- ・失言、威圧的指導、言動及び態度には十分注意を。
- ・不祥事にはくれぐれも注意を。
- ・誤った指導、不適切な指導がないようお互いにチェック。
- ・指導の記録、行動の記録をこまめにとって。失念に注意
- ・【凡事徹底】の【A,B,C】A 当たり前のことを B 馬鹿にせずに C ちゃんとする

R7.3.14時点

令和7年度学校経営構想



鍛えて、ほめて、伸ばす！
子どもの可能性

公教育の立場 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、国、県、市の学校教育施策等、鍛ほめ福岡メソッド、福岡県人権教育推進プラン、嘉麻市教育基本条例、第6次嘉麻市教育アクションプラン	学校の教育目標 対話と協働、思考と創造 ～志を持ち社会にはばたく児童生徒の育成～	児童生徒、地域の実態 ・明るく、素直な児童 ・固定化した人間関係 ・自ら課題発見・解決する姿勢の欠如 ・基本的生活習慣に課題 ・保護者地域の教育力の格差
目指す教師像 ・9年間を見通し、明確な教育理念を持ち、 協働し、取組みを徹底し 、学び続ける教師 ・人権尊重の理念を認識し、児童生徒理解に努め、積極的な生徒指導を実践する教職員 ・コミュニケーションを大切にし、よりよい学校づくりを目指し、地域社会に貢献しようとする教職員 ・子どもや保護者、地域から信頼される教職員 ・ワーク・ライフ・バランスを実現する教職員	目指す児童生徒像 ・課題を解決できる児童生徒(知識・技能) ・主体的に考え、協働的に学び、考えを深める児童生徒(思考力・判断力・表現力) ・自他を大切にし、自律する児童生徒(学びに向かう力・人間力)	目指す学校像 ・変化予測困難な時代を生きるタフ(TOUGH)な児童生徒を育てる学校 ・学力の保障と向上、進路実現ができる学校 ・人権尊重の視点に立った学校 ・いじめを許さない学校 ・保護者・地域と共に創る学校

教育課題 ・学力の向上(基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力の向上、学びに向かう力の育成) ・人権意識・規範意識の醸成(自己指導能力の育成) ・不登校の未然防止と解消(学びの共同化を育む人間関係調整力の育成)	経営課題 ・実践的指導力の向上(研修・人材育成) ・9年後の姿を共有した小中一貫教育の推進(組織・行事の再編・精選、乗入れ授業、教科担任制、異学年交流の充実)・企画、起案、会議の効率化 ・コミュニティスクールとして、保護者、地域、関係機関との信頼構築と連携
重点目標 ○基礎・基本と学び方の定着 ○共感的人間関係の醸成 ○自尊心・自己有用感の向上	経営の重点 【組織運営に関すること】 ・児童生徒像を共有した組織の構築 ・生徒支援および生徒指導の共有 【教育課程に関すること】 ・教科担任制・乗入れ授業 【研修に関すること】 ・ICT活用による個別最適な学び・協働的な学び ・客観的データ検証と主題研修による力量向上 ・不祥事防止の徹底
教育課程編成の基本方針 9年間のカリキュラムマネジメント ・時間確保 [習熟度別学習・繰り返し学習・課題別学習] ・拡充 [対話、自己選択・自己決定、リトライの場合] ・充実 [ふるさと学習・キャリア教育] ・加配教員等の活用 ・学びに向かう力の育成	校務運営の重点
学力向上プラン全体計画	教務運営の重点
各学年で目指す学力 ○前期(1・2学年) ※前期課程 各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、それらを互いに伝え合うことを通して課題解決を図る力 MIMの徹底、漢字・計算の徹底 ○前期(第3・4学年) ※前期課程 各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、身につけた表現方法を用いて互いに学び合いながら課題解決を図る力 家庭学習の徹底、問いと発言の徹底 ○中期(第5・6学年) ※前期課程 各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、身につけた表現方法を目的に応じて適切に用いて、互いに学び合いながら課題解決を図る力 家庭学習の徹底、自己決定と発言の徹底 ○中期(第7学年) 後期(第8・9学年) ※後期課程 各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、目的に応じてそれらに関連づけながら適切かつ多様な表現方法を用いて、他者と交流しながら課題解決を図る力	各部の重点目標 ○ 教育課程部 ・合理的配慮を踏まえた教育活動の改善 ・考え議論する道徳科授業の推進 ・ふるさと教育の推進 ・コミュニケーション力や自己有用感を高める異学年交流 ・適切な評価の実施 ・系統的なキャリア教育の実施とキャリアパスポートの活用 ・発達支持的生徒指導の推進 ・積極的な生徒指導による、規範意識の醸成 ・児童生徒の自治的活動の推進 ○ 研修部 ・「授業のグランドデザイン」による授業づくり ・学びに向かう力を培う教育活動 ・職員研修の充実 ○ 健康教育部 ・発達段階に応じた命の授業と人権学習の実施 ・特別支援コーディネーターを核とする支援体制の推進 ・健康増進に努め、自己管理ができる児童生徒の育成 ・事故の未然防止と迅速な組織対応の徹底 ○ 庶務部 ・学校安全の確保 ・計画的な予算執行と、合理的かつ効率的な予算編成 ★地域連携 ・コミュニティスクールの推進 ・学校運営協議会設置
	各係の重点目標
	学年経営の重点